

第3回大川保育園及び松浦保育園の統合民営化に係る検討委員会会議録

開催期日：令和4年6月6日（月）18：30～20：15

開催場所：大川コミュニティセンター研修室

出席者：（委員）

馬場崎裕之委員（大川町区長会会長）、宮副幸徳委員（松浦町区長会監事）、辻大輝委員（大川保育園育友会）、松尾光留委員（大川保育園育友会）、栗田奈穂子委員（大川保育園育友会）、田代陽一（松浦保育園育友会）、川崎淳子委員（松浦保育園育友会）、川崎麗華委員（松浦保育園育友会）、坂本和人委員（東陵中学校校長）、中村初男委員（松浦小学校校長）町田史子委員（大川保育園園長）、永田恵子委員（松浦保育園園長）

（事務局）

健康福祉部 木寺部長、子育て支援課 山口課長、子育て支援課保育園民営化推進室 佐々木室長、保育園民営化推進室 池田

傍聴者：伊万里ケーブルテレビ（1名）

1. 開 会

2. あいさつ

木寺健康福祉部長によるあいさつ

3. 辞令交付

4. 委員長選出

委員長として、東陵中学校校長坂本和人委員を選出

5. 議 事

- (1)「大川保育園及び松浦保育園の統合民営化に関するアンケート」結果について
子育て支援課保育園民営化推進室 佐々木が資料1に基づき説明

（委員からの意見）

議 長 事務局からアンケート結果の報告があったが、その内容について確認したい事項や詳しく聞きたい事項などがあればお願いしたい。

委 員 資料3頁の整備場所と理由のグラフについては、どのように見るのか。

事 務 局 統合保育園の場所として、①から④の4つの候補地の中から選んでもらい、その理由をそれぞれアからカの6つの中から選んでもらっている。例えば、1位に「東陵中学校サブグラウンド」を選び、理由として、「両町の間」を選んだ人が、2位で「松浦保育園」を選び、理由として、「自宅から近い」を選ぶなど、それぞれの組み合わせになっている。

議 長 他に質問などないか。

委 員 「整備場所の点数による比較」について、アンケート結果を点数化しているのは分かるが、5点、3点、1点の点数の配分根拠はあるのか。

事 務 局 整備場所については、各自1位から3位まで選んでもらい、1位5点、2位3点、3位1点を配分している。これは、同じ3つを選ぶにしても、1位から3位までの

順位がついているので、やはり1位に選んだものがその人にとっての思いは強いので、このような点数を配分している。

(2) 大川保育園及び松浦保育園の統合について

子育て支援課保育園民営化推進室 佐々木が説明

(委員からの意見)

議長 事務局から説明があったが、資料1の1頁下段のグラフにあるように、「賛成」が41%、「どちらかといえば賛成」が32%、合計73%の保護者が統合に賛成の考えを持っているアンケート結果を踏まえ、市としては大川保育園と松浦保育園を統合する方向で進めたいと考えているようである。この市の考えについて、皆様の忌憚のない意見をお願いしたい。

委員 前回、もう少し保護者の意見を聞くよう意見をした。その後、アンケートを行い、その結果、「賛成」が73%と説明があった。私は最初から、いずれ子どもが少なくなるので、民営化、統合して一緒になり新しい園舎で進めた方が良いと思っていた。アンケートの回答率が気になっていて、大川保育園は48.5%、松浦保育園は59.5%と半分ぐらいであるが、アンケートを必ず出してとも言えない。小学校も統合の方向で動いているので、保育園の統合民営化についても、考えていくべきではないかと思う。

議長 統合は賛成だが、アンケートの回答率が気になるということであった。関連での意見などないか。

委員 アンケート結果で、統合については、「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせ72.7%とあるが、今日、この場で統合の結論を出すのか。それとも、これから統合に向け検討を進めていくことになるのか。

事務局 民営化するのであれば、公募し社会福祉法人などに手を挙げてもらう必要がある。1日でも早く統合保育園を整備するとすれば、今の時点では、最短で令和7年4月からの開園が可能となる。それに間に合わせるためには、8月末までに結論を出せば、最短で行けると思っている。今回の課題としては、統合して民営化で募集するかが一つ、もう一つは場所の問題がある。統合するかしないかを決めないと、次に進めないなので、まずは1つ目の統合するかについて議論してもらいたい。

委員 統合に関して「反対」、「どちらかといえば反対」の意見にあるように、「統合するのであれば他の園に預ける」、「統合保育園に預けない」という家庭があるが、このような家庭は見捨てるのか。反対意見の家庭は、仕方ないということか。

事務局 現状としてまだ何も決まっていな中での回答であると思うが、園舎が新しくなることは保護者からすればメリットになると思うし、今、小学校統合の話も進んでいる。先々のことを考え、同じ小学校に行く友達と同じ保育園に預けたいという保護者の意見がアンケートの回答にもあるので、そのようなことを総合的に考え最終的に判断されるものと思う。

委員 最初は、財政の問題で統合する話だったと思う。このアンケート結果にあるように、統合するなら他の園に移るという家庭があることは、今まで一緒にいた友達と離れ、違う保育園に行くことになり、子ども達がとても可哀想だと思う。統合して綺麗な園になり嬉しい、園児も増えて嬉しい楽しいという一方で、統合するなら預けられない、遠くなるという家庭があるのが悲しい。

事務局 園児数が増えていく状況であれば単独でも運営できるが、子ども達が減少する中で、単独での運営が難しいことから、統合を検討している。身近な場所に保育園があるのが1番良いというのは、もちろん分かっているが、園児数が減少し、単独での運営が難しい状況でどのような方策が良いかということで、統合についての話をしている。

委員 統合については賛成だが、自分の子が統合するから他の園に移ると考えると本当に心が痛いので、皆にとって良くなるようにできないかと思う。

議長 市の意向としては、今日この場で統合について結論を出したいということである。それと今後の少子化という問題があるが、伊万里市の去年の出生数はどれくらいだったのか。

事務局 コロナ前は400人程度生まれていたが、令和3年は375人であった。コロナの影響で400人を切る出生数になっている。

議長 375人となると、今の中学生は500人ぐらいいるので、12年後にはかなり減ることになる。啓成、伊万里、国見中学校の1年生を足した数が、概ね375人であることを考えると、今の東陵、青嶺、南波多、山代中学校の生徒が12年後は入ってこないのも、ものすごい勢いで少子化が進んでいる。それを踏まえ、どのようにするのか皆様で考え、この場で意見を出してもらいたい。

委員 資料のどこか分からなくなったが、遠くなるのであれば、統合保育園に預けるのが難しいので、救済措置があればという意見があった。そこはこの場で考えていけるのか、考えて良いのであれば、それを考えてほしい。何回も言っているが、遠いところの人は通園バスがあれば預ける人がいるかもしれないし、統合保育園以外の他の園に入りやすくなるような手立てを取ってもらえば、保護者も安心できると思う。

事務局 この検討委員会を始めるにあたり、市でも議論した。保育園に関しては保護者の送迎が基本になるが、仮に、東陵中学校に保育園も小学校も一緒になれば、恐らく小学校にはスクールバスが出る。それに保育園児をどうするかという議論もできる。仮に、バスじゃなくても、統合することによって遠方になる地区を、例えば何キロ以上と決め、当面3年間だけは支援することも考えられると思うが、まずは統合するのかわからないのか、場所をどこにするのか決めないと、どれだけ離れているという議論ができないのが現状である。救済措置の件については、確実ではないが、3年間だけの措置とか、小学校が統合する時のバスに便乗するという措置も考えなくてはならず、そこは検討課題だと思っている。

委員 アンケートの回答数については、令和7年4月のことでもあり、今現在の子どもの年齢が0歳、1歳、2歳の保護者になるので、どうしても自分の子どもが直

接関係ないということで減ったのだと思う。統合することで預けない家庭があるが、なぜ預けないのかの理由がアンケートには書いてなかったのか。その理由に対し、100%納得してもらうことは難しいが、何かしらの対応をすることで、預けないが預けるに変わることもあると思うので、預けない理由が分からないのか。

事務局 預けないと回答した保護者の理由については、資料2の3頁の「統合保育園を整備した場合に預けますか」の理由欄に預けない理由を記載している。この資料2に記載している理由は、アンケートに記載されていた全ての意見である。

委員 アンケートの回答で、通勤方向が異なるので預けられないという理由があったので、東陵中学校であればそうかもしれないが、別の場所になれば、預けるのかもしれない。

委員 子どもの数を考えれば、統合は仕方がないと思うし、これから先は、高校の通学制限もなくなるので、もしかしたら統合して保育園、小学校、中学校が一緒になれば、大川と松浦に期待する若い世代も増えるかもしれない。

議長 他に意見はないか。統合については、4人ほど賛成意見をもらった。様々な考えがあるが、基本的には統合に賛成という感じであった。大川保育園と松浦保育園を統合することについては、結論を出して良いか。他に意見があれば出してもらいたいと思うが、現在の両園を取り巻く環境や保護者アンケートの結果を考えると、両保育園を統合することについては、ほとんどの皆様がその方向で進めて良いと考えているのではないかと思う。検討委員会としては、統合するという結論として良いか。

<一同了承>

議長 それでは、大川保育園と松浦保育園を統合することで、今後進めていきたいと思う。

(3) 統合保育園の整備場所の検討について

子育て支援課保育園民営化推進室 佐々木が説明

(委員からの意見)

議長 事務局からの説明のとおり、アンケートの結果、得点が1番高いのが東陵中学校で、後は松浦保育園、旧大川公民館の順であった。この結果を踏まえ、大川保育園と松浦保育園を統合した新たな保育園の整備場所について、忌憚のない意見をお願いしたい。

委員 資料4頁、3-4の整備場所の点数の比較を見たら、東陵中学校サブグラウンドが良いと思ったが、資料2を細かく見ていたら、中野原周辺や大川小学校、松浦小学校に統合保育園を整備してはどうかという意見がある。これらを統合保育園の整備場所の候補地に入れることは難しいのか。

事務局 大川小学校と松浦小学校を候補地に入れなかった理由としては、仮に、そこに園舎を建てるとなれば、今の校舎を解体しなければならない。松浦保育

園と大川保育園も解体しなければならず、4つの施設を解体した上で、統合保育園一つにするというのは、かなりの予算が必要になると試算しており、現実的ではないと考えている。松浦運動広場についても、事前に地元に取り組みをしたが、そこに保育園を建てるのは、地元の同意を得ることが難しいと思う。松浦保育園は、今の園庭に統合保育園を建てながら運営ができるので、候補地に選んでいる。中野原周辺は武雄に勤務する人が預けやすいという意見もあるが、今回の候補地は全て、市有地であり、新たに購入をしなくて良いという条件で選んでいる。松浦小学校はトイレが綺麗になっているが、松浦小学校に保育園を統合すると解体が必要になる。小学校を東陵中学校に統合するために、中学校も一部改修しなければならず、同時にそれを行うには、国からお金を借りないといけないが、その条件として施設の解体が入っているため、松浦小学校のトイレを解体せずに活用できるのか、国に確認しなければならない。

委員 小学校を統合する場所がまだ決まっていないうだが、きょうだい児がいるから東陵中学校に預けるとい回答もあるので、そこはいつぐらいに決まるのか。

事務局 小学校の統合は、教育委員会が担当し、説明会なども行っているが、まだ了解を得ていないようである。担当課としては、令和7年4月に小学校を統合するため、今年の夏までに判断し、9月議会で統合に向けた設計の予算をお願いする必要があるとのことである。

議長 小学校については、解体に予算がかかること。松浦運動広場は地元の同意が得られにくいこと。中野原周辺という意見もあるが、伊万里市としては市有地を前提に候補地を考えているという説明であった。他に意見などないか。

委員 0歳、1歳、2歳児が1番影響を受ける年代と考え、やはり周辺に運動施設などが整備された松浦保育園が1番良いと思う。

事務局 仮の話だが、松浦保育園に建てるのであれば、今の園庭に建て完成した時に現在の園舎を解体することになると思う。そうすると、統合保育園の整備中は園庭が使えないので、代替施設を考える必要がある。

議長 松浦保育園に建てることは可能であるが、建てる時には園庭に建てなくてはいけないので、園児が外で遊ぶ場所がなく、それをどうするか考えないといけないとのことである。

委員 4つの候補地の中では、東陵中学校サブグラウンドが良いと思う。松浦側としては、松浦保育園が良いが、大川からは遠くなるので、お互いの中間が良いと思う。ただ、東陵中学校の相撲場と駐輪場はあまり広くないので、小学校と中学校が同じ相撲場と駐輪場を駐車場として利用するのであれば、朝や帰りは車の交通量も多く混雑するため、サブグラウンドに整備し、入り口と駐車場を別にするのが、ベストだと思う。

事務局 第2回の検討委員会で説明したが、サブグラウンドのメリットとしては、入り口を別に設けることができ、朝夕の送り迎えの際に集中しないことである。特に雨の日は小学校、中学生と園児の送迎が重なり、入り口が1箇所だとそこに車

が全て集中し、事故が起きることも考えられるので、事務局としても、やはりサブグラウンドの方が安全面の確保から言えばベストだと思っている。

委員 東陵中学校のサブグラウンドは、中学校下から行く道をそのまま使うのか。
事務局 東陵中学校下から行く道は狭く離合ができないので、そこは使わず、市道川原岳坂線に保育園の出入口を整備することで考えている。小中学校については、東陵中学校の駐輪場と相撲場で乗り降りさせるため、相撲場と駐輪場を撤去し、駐車スペースを造りたい。そのように保育園と小中学校の駐車場を分散することで、安全面の確保はできると考えている。

議長 東陵中学校校長として確認したい。東陵中学校の駐輪場と相撲場を駐車場にしたいということであるが、駐輪場はどこに移設する予定なのか。

事務局 案としては、テニスコートに移設したいと思っている。

議長 他に意見はないか。本日の検討委員会で統合することは決定したが、統合保育園を整備する場所は、今日決定した方が良いのか、それとも、もう少し時間を取った方が良いのか。

委員 資料2を見ると、東陵中学校の場所に造ることに対し、距離の問題もあると思うが、周辺環境がどうなのかという意見が多い。周辺環境については、前回話したかもしれないが、東陵中学校サブグラウンドを見に行った時、小さい子をここに預けるのは少し怖いと思う状況で、統合賛成の人でも場所は悩んでいるところがあるので、今日決めてしまうのは難しいと思う。

委員 先ほど市としては市有地で考えたいとのことであり、私たちも十分理解はしているつもりだが、松浦と大川の市有地以外の土地が良いとなった場合も、それは考えられないということか。

委員 見渡しも良いので、私も中野原周辺に統合保育園を整備したが良いと思う。距離はあるが、人を増やすことを考えるとそこが環境的にも良い。

議長 良いと思った場所が市有地ではなく、予算が必要となれば候補地として考えない方が良いのか。

事務局 民営化の話は3～4年前に出て、既に、いまり、牧島、南波多保育園は、4月から民営化している。新たな園舎の整備場所を話し合っていて、牧島保育園は、同じ敷地内の園庭に造ることで考えている。南波多保育園は、旧南波多中学校のグラウンドを地元から求められている。いまり保育園は、場所がまだ決定していない。この3園を民営化する方針が出た時には、財政的な理由が大きいですが、候補地は市有地としている。新たに土地の取得に支出するのは、非常にハードルが高いと思っている。仮に、中野原地区の水田が良いとなった場合は、農地転用の手続きや大川町からの距離の問題もあり、皆が納得するような理由があれば別だが、そこに辿り着くまでに様々な課題があると思う。市としても、候補地については、いくつも検討し、第1回検討委員会で意見として出た桃川親水公園と今の大川保育園は、やはり災害時の浸水のことを考えると難しい。それよりも1段高い旧大川公民館などいくつも検討する中で、最終的に今回の4つの候補地に絞ったものである。

議長 市としては、予算面と安心、安全面など考慮した上で、この4つの候補地に

絞ったという回答だが、皆様の意見を聞いていると、やはり今日場所をどこにするのかを決めるのは早急だと思うので、次回に持ち越して良いか。

事務局 皆様の意見を聞き、今日のこの場で早急に決めてもいけないと感じたので、場所については次回に持ち越し、決めることでお願いしたい。

議長 場所については、様々な考えがあると思うので、各自持ち帰ってもらいどこが適当なのか保護者会や地域で皆様の意見を集約してもらい、第4回で決定していきたいと思う。

委員 東陵中学校サブグラウンドは、今の松浦保育園や大川保育園の敷地並みの広さがあるのか。

事務局 十分な広さがある。

議長 東陵中学校では昔からだが、現在もサブグラウンドは全く使っていない。

委員 今後、部活動でサブグラウンドを使うようであれば、統合保育園を整備するのは難しくなると思う。

議長 東陵中学校の現状としては、子どもの数が減り、2年前に、部活動も7つから4つに減らしている。さらに、卓球部に関しては3年生が6名、2年生が2名、1年生が0で、存続が非常に危ぶまれている。少子化が中学校にも大きく押し寄せ、困っている状況にある。これ以上部活動が増えるということは、中学校を統合しない限りないと思う。どこかの学校と統合すれば部活が増えるが、このまま東陵中学校を単独で運営するとなると、部活動が増えることはなく、サブグラウンドを使うことはないと思う。

事務局 場所の決定は、次回で構わない。第4回検討委員会の間までに、事務局から今日のアンケート結果についての保護者説明会を開きたい。両保育園を統合することは決まったが、整備場所はまだ決定していないので、様々な意見を検討委員会の委員に届けてもらうため、説明会を開催して良いか。

議長 次回、第4回検討委員会の前までに、市が各園で説明会を開くということで良いか。

<一同了承>

事務局 説明会の詳細については、連絡をしたい。

(4) 今後の検討委員会の進め方について

子育て支援課保育園民営化推進室 佐々木が説明

(委員からの意見)

事務局 新しい園舎の整備場所について、4月に民営化した3保育園においては、保護者と法人、市で組織する三者協議会で話し合い場所を決めている。保護者や市の意見も大事だが、運営は法人が行うので、法人の意見も大事になる。市としては、2町の保育園関係者の意見を元に場所を決定し、新しくこの場所に建てるので、手を挙げてほしいという方法を取りたいと考えている。仮に、次の4回目、5回目で場所が決まらない、決めきれないとなる場合、法人の意

見を聞くことになる。検討委員会の候補地として、複数の場所を候補地として上げ、最終的に法人が決めることになり、その時は保護者から意見が出せない状況になるので、この検討委員会で決めたい。仮に、検討委員会で決めきれないとなれば、そういうこともあることを頭に入れておいてほしい。この検討委員会の意思を1つにし法人に手を挙げてもらう方が、後々、皆が納得いくと思う。保護者においては、検討委員会で決めた方が良く、運営する法人が決めた方が良くなど様々な意見があると思うので、その意見を吸い上げ4回目の検討委員会で開かせてもらいたい。

議 長 事務局から説明があったが、この検討委員会で統合保育園の整備場所を選定した方が、地域住民の意見をそこに反映できるということであった。これが決まらないまま進むと、民営化した法人が場所を決めることになるので、次回までに場所をどこにするのか考えてもらい、第4回検討委員会で、忌憚のない意見を出しながら決めたいと思う。今後の進め方はこのような方法で良いか。

<一同了承>

(5) その他

(委員からの意見)

委 員 保護者にもう1度説明会を開くということであるが、統合することと今後、検討委員会で場所を決めていくことを保護者に伝えるのか。説明を聞いた保護者は家に持ち帰り、統合することは決定したので、今後は場所をどこにするかが最終的な決定事項になる。この保護者説明会の後に、再度場所だけで良いので、アンケートを取ることは考えているのか。

事 務 局 どのような方法で説明会を行うという市の方針を決めた上で、検討委員に示し、了解を得たうえで他の保護者に通知したい。

議 長 説明会の内容を検討し、検討委員に示すことで進めて良いか。

<一同了承>

6. その他

7. 閉 会